

## 第3学年 学習指導案

### 1 単元名 Unit 5 Living with Robots — For or Against (New Horizon English Course 2)

### 2 本単元で育成する資質・能力

- 現在分詞や過去分詞を用いた後置修飾と間接疑問文の形、意味、用法を理解できること。また、日常的な話題や社会的な話題について、賛否や自分の考えを述べられること。(知識及び技能)
- 日常的な話題や社会的な話題について、自分で作成したメモなどを活用しながら、自分の考えを書いたり伝え合ったりすること。(思考力、判断力、表現力等)
- 聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、日常的な話題や社会的な話題についてお互いに意見を出し合い、考えや理由をまとめようとする事。(学びに向かう力、人間性等)

### 3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
外国語についての知識を適切に活用し、日常的な話題や社会的な話題について、話の概要を捉えることができるようにしたり、賛否や自分の考えを簡単な語句や文を用いて書いたり話したりしている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、聞いたことや読んだことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを整理し、簡単な語句や文を用いて書いたり伝え合ったりしている。	日常的な話題や社会的な話題について、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ろうとしている。

### 4 単元について

#### (1) 教材観

本単元は、人間とロボットとの共生を題材としている。ロボットはこれからの社会において重要な役割を果たすとともに、共生していくためには様々な課題が考えられる。本文の内容を理解し、ロボットと共生していくことの利点や問題点を考え、英語で意見を主張したり議論しやすい教材である。ロボットとの共生について、個人で考えたり、グループで議論したりすることを通して、多様な考え方や社会的な話題を英語で伝え合う言語活動を設定したい。

#### (2) 生徒観

平成31年度全国学力・学習状況調査の結果から、「聞くこと」や「読むこと」を通じて得た知識等について自らの体験や考えなどと結び付けながら活用し「話すこと」や「書くこと」を通じて発信することに課題があることが分かる。そこで、授業で得た知識・技能を実際のコミュニケーションにおいて、思考・判断・表現することを繰り返す場面を設定する必要があると考える。

#### (3) 指導観

第1時に、本単元でのゴールの姿を示し、学習の見通しをもつことで、生徒は、それぞれの学習場面と活動の意味と流れを理解し、主体的に課題に取り組むことができると考える。毎授業の始めには、スモールトークをやり取りする学習場面に設定する。スモールトークは、既習表現を活用しながら、即興で自分の考えなど伝え合うことで

ある。正確さよりも伝えたい内容を重視するため、中間指導で既習表現を想起させたり、正しい言い方を確認したりする。生徒に示す話題については、日常的な話題を単元の学習内容と関連付けることで、話す際に必要となる表現や情報を学ばせる。単元を通して資質・能力を育成するために、授業の終末には、リテリング活動を内容理解の学習場面として設定する。リテリング活動は、教科書で取り扱った内容や話題についてキーワードを基に理解したことを、自分の言葉で相手に伝えることである。生徒の実態に応じて、指導者側でキーワードを示す支援をする。

第5時の考えや気持ちなどを伝え合う活動①において、「What do you think about living with robots?」という話題を提示する。まず、賛否や自分の考え、その理由や具体例などを整理して英文で書く。次にペアやグループで伝え合うことで、自分の考えと友達や先生の考えなどを比較したり、自分の考えと関連付けたりすることができるようにする。

第5時で伝え合った内容を英文で書き直し、第6時で再度、考えや気持ちなどを伝え合う活動をインタラクティブフォーラム形式で伝え合うことで自分の考えなどを広げたり深めたりすることができるようにする。

単元の学習到達目標の達成度を測るために、単元の最後にパフォーマンス評価の場面を設定する。「Using cell phones is bad for Junior High School students.」という話題で教師と生徒のインタビューを行う。ルーブリック評価を用いて生徒の達成度を測り、次単元へつなげる。

## 5 単元の指導計画（9時間扱い）（※「課題」と「評価」の番号は正対、㊦：育成する資質・能力）

時	学習内容・活動	指導上の留意点【評価の方法】
1	<p>課題① 文章や対話文を読み、要点を捉えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本単元の学習到達目標を理解する。</li> <li>和太鼓についての新聞記事を個人、グループで読み取る。</li> <li>新聞記事の内容をリテリングする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>最新型のロボットについてICTを活用して紹介し、関心を高める。</li> <li>リーディングワークシートを活用し、個人、グループでリーディング活動を行う。</li> <li>ヒント集を活用するように助言する。</li> </ul> <p>㊦新聞の内容を読み、その内容を理解すること。（思考力、判断力、表現力等）</p> <p>評価① 文章や対話文を読み、要点を捉えている。【ワークシート】</p>
2	<p>課題② 必要な情報や要点について聞き取ることができる。</p> <p>課題③ 聞き手を配慮しながら考えや理由を伝え合うことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>モデル対話の文を読んで理解する。</li> <li>間接疑問文について理解する。</li> <li>自分の知っていることなどを間接疑問文を用いて表現する。</li> <li>対話の例を元にペアで未来の自分について知りたいことを話す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前に最新型のロボットについて調べ学習を行わせ、スモールトークのテーマにすることで関心を高める。</li> <li>ペアでの対話活動では、話す→書くの順番で行わせる。</li> </ul> <p>㊦ロボットについての対話を聞き、その内容について理解すること。（知識及び技能）</p> <p>評価② 必要な情報や要点について聞き取っている。【観察】</p> <p>㊦未来の自分について知りたいことを伝え合うこと。（学びに向かう力、人間性等）</p> <p>評価③ 聞き手を配慮しながら考えや理由を伝え合っている。【観察】</p>
3 4	<p>課題① 文章や対話文を読み、要点を捉えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ロボットとの共生についての議論を読む。</li> <li>読んだ内容をリテリングする。</li> </ul> <p>課題④ 読んだり聞いたりした内容を要約することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>リテリングの内容をグループ内で共有する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リーディングワークシートを活用し、個人、グループでリーディング活動を行う。</li> <li>スモールトークのテーマを、ロボットとの共生と深く関連付けて提示することで、必要となる表現や情報を学ぶ。</li> </ul> <p>㊦ロボットとの共生についての議論を読み、その内容を理解すること。（思考力、判断力、表現力等）</p> <p>評価① 文章や対話文を読み、要点を捉えている。【ワークシート】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ヒント集を活用するように助言する。</li> </ul>

		<p>④ ロボットとの共生についての議論の内容を要約すること。(思考力, 判断力, 表現力等)</p> <p>評価④ 読んだり聞いたりした内容を要約している。【ワークシート】</p>
5 本時	<p>課題④ 自分の考えやその理由について書くことができる。</p> <p>1 Greeting 2 Monthly Song 3 Small Talk 4 本時の学習課題を知る・本時の流れを確認する。</p> <p>Can write about your opinion ~ What do you think about living with robots?~</p> <p>5 ロボットとの共生についての自分の意見を英文で書く。 ・グループになり、ロボットとの共生について伝え合う。 ・ワークシートに自分の考えを5文以上の英文で書く。</p> <p>6 それぞれの考えをグループ内で共有する。 ・グループ内で一人ずつ自分の考えを発表する。 ・それぞれの発表に対する疑問や感想などを付箋に書き、発表者に渡す。 ・自分の考えなどを伝え合う。</p> <p>7 本時を振り返る。 ・ワークシートに学んだことや感想を書く。</p>	<p>・元気に挨拶したり歌ったりすることで、表現活動がしやすい雰囲気を作る。</p> <p>・最初は隣の生徒と行き、中間指導を行った後にペアを変えて再度行うことで、繰り返しの練習を促す。</p> <p>・生徒が興味をもつことができるように、ICTを活用して導入を行う。</p> <p>・本時の学習課題と学習の流れを提示することで見通しをもって授業に取り組めるようにする。</p> <p>・はじめは日本語で伝え合ってもよいことを伝えることで、考えを広げられるようにする。</p> <p>・ヒント集を活用することで、既習表現だけではなく、未習表現をも活用しながら自分の考えを書けるようにする。</p> <p>・聞き手や読み手を意識した英文にするように助言する。</p> <p>④ ロボットとの共生について、自分の考えをもち、英語で表現したり伝え合ったりすること。(思考力, 判断力, 表現力等)</p> <p>評価④ 自分の考えやその理由について書いている。【観察・ワークシート】</p>
6	<p>課題③ 聞き手を配慮しながら考えや理由を伝え合うことができる。</p> <p>・前時でまとめた英文を推敲し、再度グループで話し合う。</p> <p>・3人組のグループを作り、インタラクティブフォーラム形式で伝え合う。</p> <p>・最終的な自分の考えを清書する。</p>	<p>・前時と考えや理由などが変わってもよいことを伝える。</p> <p>・3人組のグループで、メンバーを変えながら複数回行うことで、様々な意見や表現に触れられるようにする。</p> <p>④ ロボットとの共生について、自分の考えをもち、英語で表現したり伝え合ったりすること。(思考力, 判断力, 表現力等)</p> <p>評価③ 聞き手を配慮しながら考えや理由を伝え合っている。【観察】</p>
7	<p>課題② 必要な情報や要点について聞き取ることができる。</p> <p>・電車の優先席についての議論を聞く。</p> <p>・3人組のグループを作り、インタラクティブフォーラム形式で伝え合う。</p> <p>・自分の考えを英文に書く。</p>	<p>④ 電車の優先席についての議論を聞き、話し手の主張や理由を聞き取ること。(知識及び技能)</p> <p>評価② 必要な情報や要点について聞き取っている。【観察】</p>
8	<p>課題③ 聞き手を配慮しながら考えや理由を伝え合うことができる。</p> <p>・紙の辞書と電子辞書について、全体で利点について話し合う。</p> <p>・3人組のグループを作り、インタラクティブフォーラム形式で話し合う。</p> <p>・伝え合った内容についてワークシートにまとめ、単元を振り返る。</p>	<p>・話す→書く→話すの順番で行うことで、自らの課題と改善点を考えられるようにする。</p> <p>④ 紙の辞書と電子辞書について、自分の考えをもち、英語で表現したり伝え合ったりすること。(思考力, 判断力, 表現力等)</p> <p>評価③ 聞き手を配慮しながら考えや理由を伝え合っている。【観察・ワークシート】</p>
9	<p>課題③ 聞き手を配慮しながら考えや理由を伝え合うことができる。</p> <p>・携帯電話について、生徒と教師のインタビューを行う。</p>	<p>④ 携帯電話の使用は、中学生にとって良くないことについて、自分の考えをもち、英語で表現したり伝え合ったりすること。(思考力, 判断力, 表現力等)</p> <p>評価③ 聞き手を配慮しながら考えや理由を伝え合っている。【インタビューテスト】</p>